



発行：玉琳山 天寧寺
〒460-0018
名古屋市中区門前町3-21
TEL 052(321)5865
FAX 052(324)8079
tenneiji@road.ocn.ne.jp
郵便振替 00870-1-30614
発行人：副住職 大野俊人

生きたいものです。

禅語に「一行三昧」という言葉

令和七年の初春を迎え、謹んで
新年のお祝辞を申し上げます。

ご家族の皆様のご健康とご多幸
を心より御祈念申し上げます。

元旦と大晦日では、わずか一日
の違いしかありませんが、新年を
迎えると前日とは気持ちがあつた
り変わってしまいます。

大晦日には除夜の鐘を突き、百
八つあるといわれる無明の煩惱(身
心を悩まし煩わせる心の働き)の
闇を、鐘を突いて一つ一つ除き、
自分自身の心を省み、二度と戻ら
ない一年を見つめ直します。

新しい年の輝ける希望のスター
トを迎えるにあたり、いろいろな
抱負が心に浮かんできます。その
抱負に向けて、一日一日を大切に

がございます。一つの事に精神を
集中して、無心で迷うことなく取
り組むことを指します。

抱負に対して、心を一つにして

邁進する。仕事をする時には仕事
の時には食事三昧、その間に一点
の雑念や妄想(考えや想いに囚われ
る事)を挟むことなく全身全霊をあ
げて打ち込み、自分を見失わない
ように持続させていくことが大切。

つついテレビを見ながら、音
楽を聴きながら、スマホを見なが
らの、ながら作業が当たり前にな
っているかもしれません。二つの
ことを同時にするのは一見効率が
良さそうですが、結果的には記憶
に残らず中途半端に時間を使うこ
とになりかねません。



天寧寺ホームページ

天寧寺Instagram

客殿・納骨堂完成報告

特に迷いや悩みがあるときは今
やるべきことに一心に集中してみ
てください。悩みの多くは自分が
つくり出した妄想です。

どんなことも、一つの事を全身
全霊で行えば妄想や雑念の入り込
み余地などありません。そして、
新たな発見もあるかもしれません。



客殿の入口から見た様子、カウンター内は給湯スペース

皆様のご理解とご協力のお陰に
より一部工事は残っておりますが、
客殿・納骨堂が完成いたしました。
新しい客殿には、外部にスロー
プがあり本堂まで段差なく行くこ
とができ、室内用の車イスも完備。



客殿にはプロジェクターも完備しています



納骨堂のご本尊は釈迦如来座像のお骨仏

客殿は法事の控室や会食、写経
会などの会場としてだけではなく、
観音様をお祀りする第二本堂とし
て法事を行うこともできます。
客殿の襖絵と納骨堂二階のお骨
仏の頭上には、京都の青蓮院門跡
の襖絵や、関西国際空港の壁画を
手掛けられた壁画絵師の木村英輝
先生の蓮の絵が描かれています。

令和七年春オープンする天寧寺

納骨堂「えんぐでん圓徳殿」は和モダンなデ

ザインの仏壇タイプの納骨堂です。

天寧寺は、元は清洲城下に開創

され、当初の寺号は圓徳院でした

が、元文二年に徳川宗春公の子・

瀧千代が若くして亡くなり、圓徳

院と法名がつけられたため避諱し

て、寺号を現在の天寧寺に改めま

した。当時の寺号にちなみ圓徳殿

と命名させていただきました。

納骨堂は木造耐火構造二階建て

です。エレベーター、車イス対応の

トイレがあり開門時間内であれば、

いつでも契約者専用キーを使いお

参りできます。二十四時間AI監

視カメラにて屋内外監視しており、

セキュリティも万全。室内は冷暖

房完備、天候不問で安心して大切

な御家族をお預けいただけます。

納骨壇は五つのタイプをご用意

しましたので、ご家族の構成やご

予算に合わせて選びいただけます。

デザインは、一・二段型は高級

感ある黒色と金色のストライプ柄。

三・五・六段型は七宝繋ぎ柄をア

レンジした和モダンなデザインで

す。それぞれの区画に仏壇と同じ

ように、個別に仏像（五・六段型は

掛軸の仏様）・おりん・常花・電気

ロウソク・電気線香が設置され、

お位牌や写真、故人様の思い出の

品を飾ってお参りいただけます。

納骨堂は、お墓や仏壇がない分

家の方や、将来お墓や仏壇の後継

者がなく、墓じまいや仏壇じまい

を考えられている方にお勧めです。

お申し込みにあたり、従前の宗

旨・宗派は問いませんが、曹洞宗

の儀礼で天寧寺の信徒として住職

が責任を持って永代供養させてい

たきます。

年間管理費等は不要で、最終納

骨から三十三回忌までお骨を納骨

壇に安置、その後はお骨の一部を

納骨堂に残し、天寧寺霊苑の合祀

墓に合葬後も永代供養いたします。

ご予約を承っております。詳し

くはホームページをご覧ください。



納骨堂2階の様子

一段型(最大18霊) 6区画



二段型(最大6霊) 18区画



三段型(最大6霊) 84区画



五段型(最大2霊) 210区画



六段型(最大2霊) 132区画



どうとくしん 道徳心

近年、若者がSNSで見つけた闇バイトから犯罪に手を染め、特殊詐欺や強盗や殺人などに加担してしまうニュースを耳にします。

ある調査結果で、高校生の八割が、闇バイトの求人か普通の求人が判断できないそうです。大人が見たら怪しいと疑うような求人でも、SNSで見つけた高額時給の求人気軽に応募してしまう。

若者が闇バイトに引つかかってしまうのは、道徳心が欠け善悪の判断が鈍ってしまったからだと思います。また命に対する重みも下がってきているように感じます。

若者の中では、死というものがゲームの中に存在し身近です。しかし、その中の死はゲームをやり直せば復活する軽い命なのです。



祖父母と同居することが少なくなった今日では、大切な家族の死や老いていく姿を目の当たりにすることがなく、命の大切さに向き合う機会がなくなっています。

葬儀に出る機会も少ない若者は、人はいつか死ぬという知識はあっても、理解はできていません。葬儀を通して死と向き合うことは、私たちに人生のはかなさと、その有限性を深く感じさせてくれます。

葬儀の出棺前の最後のお別れで、遺族が大声で泣き崩れ^{おえつ}嗚咽する姿は、大切な人を失った悲しみがどれほど大きいものかを、そして、人が一人死ぬという事はどれほど大変なことなのかを、身をもって教えてくれます。

私たちひとり一人の命は、両親や沢山のご先祖様から受け継いだきた命のバトンです。まさに命の証であり、生かされた命です。

最近では法事を家族だけで、子供さんやお孫さんを参列させずにつとめる方がいらつしやいます。ご先祖様を供養する姿を子供さんやお孫さんに見せ、今のうちからご先祖様の大切さを教えていかない

と将来お墓や仏壇を守ってもらえず、自分達の供養してもらえなくなるだろうと心配になります。

また、葬儀も家族葬で親戚には声をかけずにされる方もいます。

親戚で集まる機会も年々減りつつあるので、葬儀や法事のときぐらいは、ご先祖様からバトンを受け継いだ、どこか似ている顔や雰囲気^{きずな}の親戚一同が集まり、その姿を故人様にみせてあげるのも良い供養になるかと思っています。

日ごろから、子供さんやお孫さんに墓参りや法事などの仏事に積極的に参加してもらえよう声をかけ、善悪の判断ができる道徳心、命の重さを感じられる心を、仏事を通して養ってあげてください。

ご先祖様は無条件で子孫の最大の応援者です。常日頃、沢山のご先祖様に見守られていることを覚えてあげてください。



ほうきょういんとう 宝篋印塔



天寧寺の境内には弘化二年（江戸時代）建立の宝篋印塔が建っています。元々は境内の南東にありましたが、今回の工事で石塔を綺麗に掃除して本堂前に移設しました。

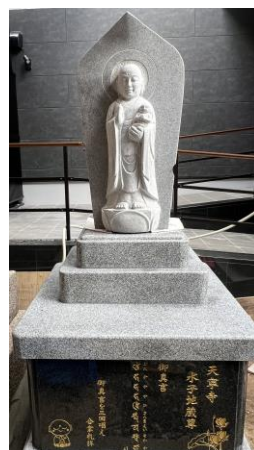
ほうきょういんとう
宝篋印塔は『宝篋印陀羅尼』というお経を収める供養塔です。

仏様や梵字などが彫刻されており、線香やお花をお供えしお参りすると八十億劫もの生死を繰り返してきた重い罪が消滅し、この世ではあらゆる厄難から免れ、死後は必ず極楽に至る功德があるとお経に説かれています。

水子地蔵尊

ほうきょういんとう
宝篋印塔の隣に水子供養のために水子地蔵尊石像を建立しました。諸般の事情で、目の目を見るこ

とが無く生まれてくることが出来なかった子の安眠の場として。または、生まれて間もなく亡くなられた幼いお子様を弔う為に、新たにお地蔵様をお迎えいたしました。天寧寺では水子供養も承っております。水子供養された方がいつでもお参りいただけるように、境内に建立させていただきました。



墓じまい・仏壇じまい

ここ数年「墓じまい」「仏壇じまい」という言葉が、流行語のよう^{よう}に聞こえてきます。文字通りお墓や仏壇を仕舞って処分することです。その理由は、承継者がいない場合や遠方にあるお墓の維持管理できなくなるなど様々です。

最近では、比較的元気な中高年世代が「子供達に迷惑をかけたくないので、私の代で片付けます」という声も耳にします。確かに、

子供さんがいない、嫁いだ娘に頼れないなど、様々な理由がある場合もあります。しかし、子供さん、お孫さんも元気で過ごされているのに、早々とお墓や仏壇を処分してしまうことがひとつの風潮になっていと感じます。

親子関係、家族関係は複雑です。供養を継承したいけれど、どうにもならない事情がある場合もあるうかと思えます。

しかし、子供さんに供養文化を継承させることは、本当に迷惑なことなのでしょうか。手間を取り、時間を費やすことによって知ることや、得るものもあります。

子供さんの意見も聞かずにお墓や仏壇を処分すると、若い世代はご先祖様の供養について深く思いを巡らせる機会が失われます。

人は、病気になったり、年老いたり、死を自覚するようにならないと、「ご先祖様」や「あの世」のことは意識しないものです。したがって、若いうちに供養の営みが失われると、ご先祖様という自らのルーツや、死後のあの世について考える重要な機会を失ってし

まうことになります。

お墓や仏壇は故人様を想うご家族の心の拠り所です。後継者がおらず、やむをえずお墓や仏壇を処分さえる場合はご相談ください。

納骨堂、永代供養墓、樹木葬、お位牌の預りなど、それぞれの家の事情に合った、将来の供養の形を一緒に考えさせていただきます。

ペット合祀墓



樹木葬の東側、石標の裏側に新たにペット合祀墓を建立しました。

元々は天寧寺で飼っていたワンちゃんやの供養のために建立しましたが、檀信徒や天寧寺とご縁のある方の大切なペットの遺骨も一緒に納骨いただけます。皆様の大切なペットが寂しくないよう、沢山の子が一緒に眠れる合祀墓です。

令和七年 年回表

一周忌	令和六年
三回忌	令和五年
七回忌	令和元年 平成三十一年
十三回忌	平成二十五年
十七回忌	平成二十一年
二十三回忌	平成十五年
二十七回忌	平成十一年
三十三回忌	平成五年
三十七回忌	平成元年 昭和六十四年
四十三回忌	昭和五十八年
四十七回忌	昭和五十四年
五十回忌	昭和五十年

※法事のお申し込みはお早めにお願ひします。

令和七年 行事予定

三月二十日(木)春分の日	春彼岸会墓経 八時～十三時 永代供養墓個別供養 十三時～十四時
八月十一日(月)山の日	お盆墓経 八時～十三時 永代供養墓個別供養 十三時～十四時
八月十七日(日)十三時	施食会(天寧寺本堂)
九月十五日(月)敬老の日十三時	永代経(天寧寺本堂) 「永代経」申込者の合同供養です。永代供養墓に納骨されている方のご供養ではございません。
九月二十三日(火)秋分の日	秋彼岸会墓経 八時～十三時 永代供養墓個別供養 十三時～十四時
十二月十五日(月)九時～十四時半	三宝大荒神 大祭(天寧寺三宝殿)

※今年より個別墓、合祀墓、樹木葬の合同供養は個別供養に変更します。右記日程の十三時～十四時の間にお越しただければ順番に墓前にて個別供養させていただきます。不参の場合は最後に合同供養いたします。

浄財寄進者御芳名

金	三十万円	川瀬	米子	殿
金	三十万円	鈴木	千鶴子	殿
金	五万円	永井	浩司	殿
金	五万円	小出	法生	殿
金	五万円	野田	俊	殿
金	三万円	西雪	諭	殿

皆様から頂戴した浄財は客殿・納骨堂新築工事代金に使わせていただきます。天寧寺では、多くの方より浄財の寄付、仏具の奉納を受け付けております。寄付振込先…郵便振替 00870-1-30614 宗教法人 天寧寺

名古屋市千種区 平和公園内 天寧寺霊苑

永代供養墓

樹木葬 二霊 55万円



樹木葬の墓石はお好みの色の石に家紋やお好きな絵や文字を彫刻できます。個別区画で春・夏・秋の年3回供養。最終納骨後17回忌経過しましたらハナミズキの樹木の下へ合葬し、その後も永代供養いたします。

合祀墓 一霊 25万円



個別墓 二霊 68万円



◎天寧寺霊苑 新規墓地区画 使用者募集中